

平成 24 年度

事 業 報 告

社会福祉法人 名東福社会

目 次

名東福祉会のミッション	2
事業機構	4
利用者の状況	6
デイケア事業	12
メイトウ・ワークス	
天白ワークス	
はまなす	
レジデンス日進／ハートフルアクト日進	
ナイトケア事業	21
児童発達支援事業・放課後等デイサービス事業	24
相談支援事業	31
サービス品質の向上を目指した取り組み	39
安全委員会・安心委員会・接遇委員会・給食委員会	
新規職員研修・マネージャー研修	
機関誌「WORKS」編集部	
施設・事業所一覧	

名東福祉会のミッション

● 名東福祉会のミッション（使命）

名東福祉会の使命は、東部名古屋地域の障害者ケアと、障害者ケアに関するあらゆるサービスを提供することを目的とする。

名東福祉会は障害者のクオリティオブライフを高めるため、名古屋市東部地域において、障害者のための継続的ケアを提供し、利用者の自由と自立の実現をめざす。

● 福祉サービスの基本的考え方

（1）健康

- ・利用者のクオリティオブライフを最優先した福祉サービスを提供する。
- ・利用者が可能な限り健康を維持・増進することができるように支援する。
- ・提供サービスの質を向上させるためにリスクマネジメントを行う。

（2）自己決定の支援

- ・地域に福祉団体と人の支援ネットワークを形成し、多様なプログラムによって利用者の生活を支える。
- ・生活スタイルを自ら選択することができるように支援する。
- ・利用者とその家族が設定した目標の実現に向けて多角的な支援を行う。
- ・利用者のニーズにあったプログラムの選択が可能なように柔軟な対応を実現する。

（3）個別支援計画にもとづいた処遇

- ・施設の運営方針と利用者のニーズに基づき、ニーズを満たすために必要な個別支援計画を立案する。
- ・個別支援計画の立案にあたっては、できる限り利用者本人・利用者の家族または親権者・障害者福祉に関わる専門家とともにこれを作成し、提供されるべき個別支援計画決定し、利用者、家族、職員、地域社会相互の満足を実現する。
- ・個別支援計画によって設定された目標の達成度を常にチェックする。
- ・関係機関が利用者のニーズと支援技法に関する情報を共有し、支援内容を継続的に改善する。

（4）提供サービスの妥当性の確保

- ・利用者の権利を護るため自己チェック体制を整える。
- ・利用者とその家族がいつでも正当な権利を行使することができるようにサービスのあり方を常に見直す。
- ・情報公開に努める。

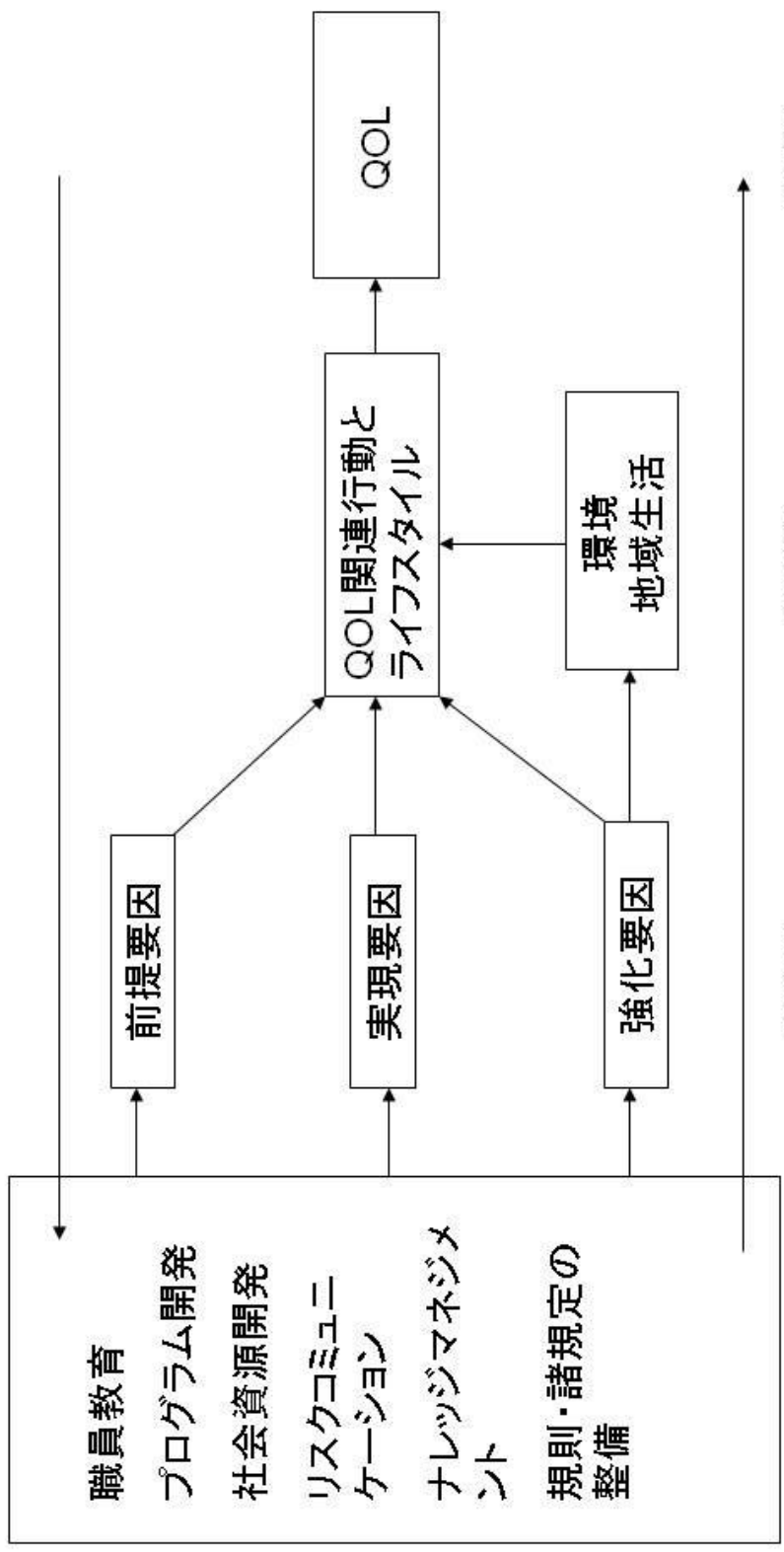
利用者のクオリティ・オブ・ライフの改善モデル

第一段階
社会的診断

第二段階
行動と環境の診断

第三段階
応用行動分析

第四段階
経営政策決定



第五段階
経営政策診断

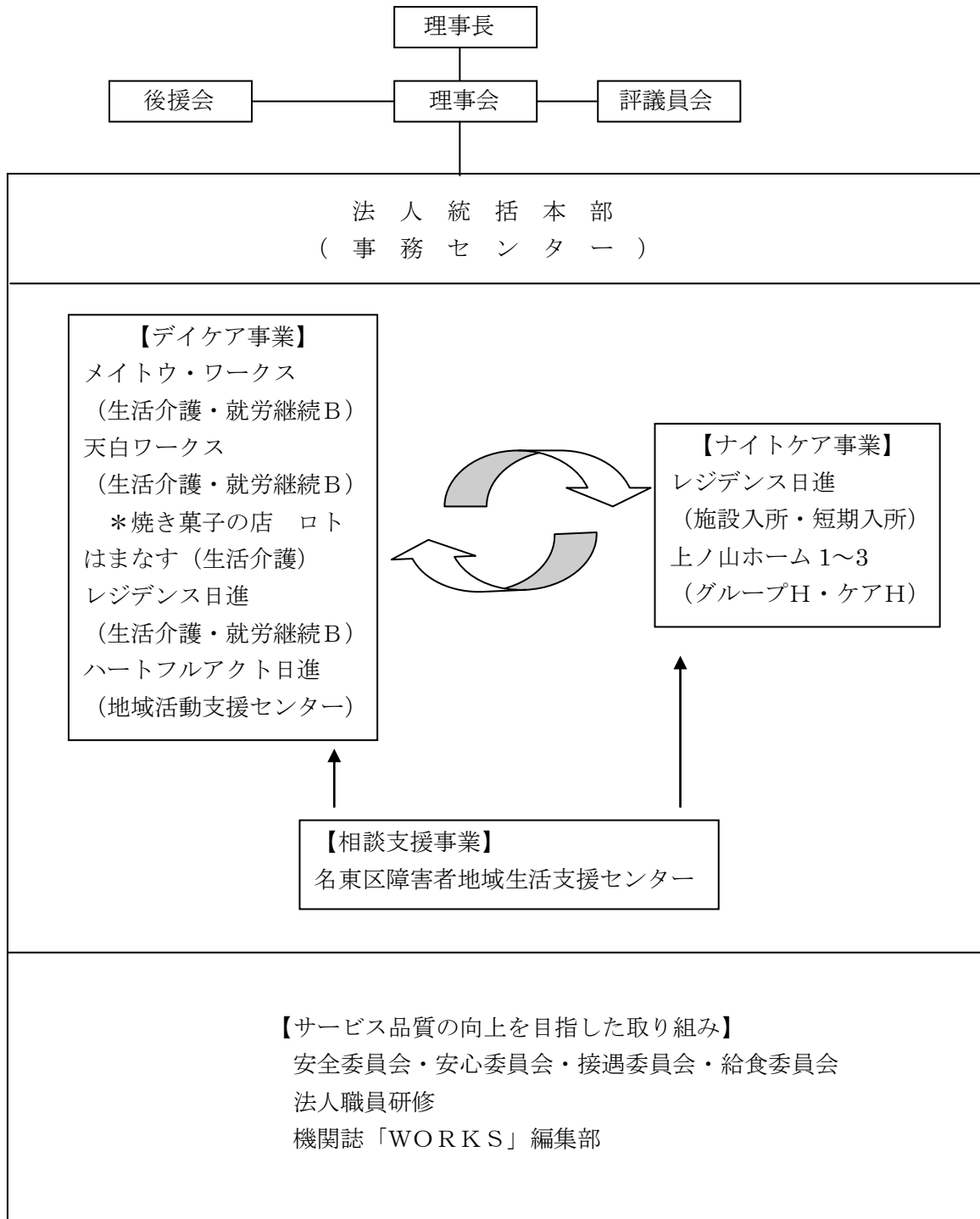
第六段階
各要因の効果測定

第七段階
行動と環境の効果測定

第八段階
QOL診断

事業機構

1. 機構図



2. 職員構成（平成25年4月1日現在・計91名）

	理事長	本部長	事務員	所長	支援員 相談員		看護師	栄養士	医師	
					男	女				
法人全体	1	1	2	6	33	45	2	1	1	
メイトウ・ワークス				1	3	6	(1)		(1)	
天白ワークス				1	5	7	(1)		(1)	
はまなす				1	3	5	(1)		(1)	
レジデンス日進				1	21	21	1	1	(1)	
ハートフルA日進				(1)						
上ノ山ホーム				(1)						
たけのこの家				1		3				
名東区支援C				1	1	3				

* レジデンス日進の支援員および栄養士、また看護師は、常勤換算前の実人数

* ()は兼務

利用者の状況

(平成 25 年 4 月 1 日 現在)

名東福祉会は現在、約 250 名の方々から利用契約をいただき、名古屋東部地域を中心に、障害児者への福祉サービスの提供を行っています。

障害をもった方々の生活をトータルに支援できるよう、事業所間の連携を強化して利用者のニーズに応えていきたいと考えています。

1. 年齢分布

(1) 成人対象事業

	～19歳		20歳～		25歳～		30歳～		40歳～		50歳～		計
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	
メイトウ・ワークス			1	4	3	4	5	7	8	5	2	1	40
天白ワークス	1	1	5	1	7	3	3	2	7	4	2	3	39
はまなす	1		5		2	3	7	4	3				25
ハートフルA日進					1								1
レジデンス日進					2	2	5	3	13	8	1	6	40
上ノ山ホーム					2	1	5	2	7	3	4	3	27
法人全体	2	1	11	5	17	13	25	18	38	20	9	13	172
	3		16		30		43		58		22		

(2) 児童発達支援・放課後等デイサービス事業

	～2歳		3歳		4歳		5歳		6歳		7歳～		計
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	
たけのこの家					8	1	12	3	15	4			43

2. 居住（出身）地分布

(1) 名古屋市市内分

	名古屋市														
	名東	天白	緑	千種	昭和	守山	瑞穂	中村	中川	南	港	北	中	東	熱田
メイトウ・ワークス	27			1	1	3			1					1	
天白ワークス	2	17	5		4				1	2					
はまなす	15	5		1	2	1	1								
ハートフルA日進															
レジデンス日進	5	9	5	1	1	2	1		1	1	1		1		
上ノ山ホーム	4	6		1	4	1	1	1		2					
たけのこの家	5	5	5	1			1		2			1	2		2
法人全体	58	42	15	5	12	7	4	1	5	5	1	1	3	1	2

(2) 名古屋市外分

	名古屋市外								市内 小計	合 計
	日 進	春 日 井	尾 張 旭	瀬 戸	江 南	他 県 内	県 外	小 計		
メイトウ・ワークス	4		1			1		6	34	40
天白ワークス	7	1						8	31	39
はまなす									25	25
ハートフルA日進	1							1		1
レジデンス日進	7		1	1	2	1		12	28	40
上ノ山ホーム	1	1	2	1		2		7	20	27
たけのこの家	2					16	1	19	24	43
法人全体	22	2	4	2	2	20	1	53	162	215

3. 障害の程度：障害程度区分認定結果

	1		2		3		4		5		6		計 (平均)
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	
メイトウ・ワークス	1		1	4	5	6	4	5	5	1	3	5	40(3.9)
天白ワークス			1	2	6	2	9	4	6	5	3	1	39(4.1)
はまなす					2		5	1	7	4	4	2	25(4.8)
レジデンス日進							5	6	11	6	5	7	40(5.0)
上ノ山ホーム			4	1	5	2	7	2	2	2		2	27(3.6)
法人全体	1	0	6	7	18	10	30	18	31	18	15	17	171
	1		13		28		48		49		32		(4.3)

4. 障害の種別

(1) 主たる障害

	広汎性発達障害		ダウン症		知的障害		重症心身		計
	男	女	男	女	男	女	男	女	
メイトウ・ワークス	7	7	1	4	9	9	2	1	40
天白ワークス	15	4	5	1	5	9			39
はまなす	12	2	4	2	2	2		1	25
ハートフルA日進			1						1
レジデンス日進	12	7	1		8	11		1	40
上ノ山ホーム	9	4	1	1	8	4			27
たけのこの家	26	6		1	9	1			43

	広汎性発達障害		ダウン症		知的障害		重症心身		計
	男	女	男	女	男	女	男	女	
法人全体	81	30	13	9	41	36	2	3	215
	111		22		77		5		

(2) 重複障害

	肢体		視覚		聴覚		内部		精神		延計
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	
メイトウ・ワークス	4	2			1		1	2			10
天白ワークス	1	2			1		1				5
はまなす		2		1				2			5
ハートフルA日進	1						1				2
レジデンス日進	3	2				1		1		1	8
上ノ山ホーム						1			1		2
たけのこの家	1		2		1		1		1		6
法人全体	10	8	2	1	3	2	4	5	2	1	38
	18		3		5		9		3		

5. 利用期間

	～1年		1年～		3年～		5年～		10年～		15年～		計
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	
メイトウ・ワークス				1	1	3	6	8	1	2	11	7	40
天白ワークス	1	1	4	5	4	1	10	3	1	3	4	2	39
はまなす	1		1				5	3	3	3	8	1	25
ハートフルA日進							1						1
レジデンス日進	5	6			3		13	13					40
上ノ山ホーム	9	9			9								27
たけのこの家	15	4	20	4									43
法人全体	31	20	25	10	17	4	35	27	5	8	23	10	215
	51		35		21		62		13		33		

6. 月別平均利用者数

	定員	4月	5月	6月	7月	8月	9月
メイトウ・ワークス	37	34.9	35.0	34.8	36.0	35.5	35.9
天白ワークス	35	32.9	32.2	31.8	31.6	31.2	30.9
はまなす	30	24	23.7	22.9	22.5	22.9	21.7
ハートフルA日進	15	2.2	2.6	1.9	1.0	0.2	0.1
レジデンス日進	40	38.8	38.9	36.3	36.4	34.7	36.9
上ノ山ホーム	9→27	8.5	8.5	24.1	25.9	24.5	26.0
たけのこの家	10	4.1	5.0	6.2	6.4	6.9	8.0

10月	11月	12月	1月	2月	3月	今年度平均	前年度平均	
35.3	33.5	33.6	34.0	33.9	33.8	34.7	36.0	メイトウ
32	31.8	31.9	30.6	31.3	31.2	31.6	31.2	天白W
22.4	22.5	22.4	22.3	22.6	22.6	22.7	23.4	はまなす
0	0.2	0.1	0.1	0.1	0.1	0.7	5.2	ハートフル
37.8	37.8	36.2	36.0	37.5	37.0	37.0	38.4	レジデンス
26.2	26.1	25.1	24.2	26.1	26.3	22.6	8.5	上ノ山H
7.4	7.6	7.5	8.2	7.8	7.7	6.9	7.6	たけのこ

* はまなすは、地域との話し合いで、25名程度の利用を目安としている

* 上ノ山ホームは、6月から定員増（算出上、週末帰省日は除外）

7. 短期入所事業利用者数：レジデンス日進・定員7名

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
158	162	117	115	129	122	140	125	122	116	126	125	1557

8. 日中一時支援事業利用者数：レジデンス日進・定員7名

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
2	2	5	4	3	7	7	5	7	6	5	7	60

* 日中一時契約市町村：名古屋市・日進市・長久手町・尾張旭市

9. 通所施設時間延長サービス利用者数（16：00～17：00）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月
メイトウ・ワークス	8	6	9	5	9	8
天白ワークス	1					
はまなす	7	5	5	4	3	1
法人全体	16	11	14	9	12	9

10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	
11	7	2	1			66	メイトウ・ワークス
						1	天白ワークス
3		3	1	2	2	36	はまなす
14	7	5	2	2	2	103	法人全体

デイケア事業

名東福祉会は、昭和 57 年にメイトウ・ワークスを開所して以来、質の高い日中プログラムの提供を目指してきました。

人の暮らしの質を考える場合、やはり日中の過ごし方の重要性は第一と言えます。施策や制度の動向を踏まえながらも、利用者のニーズに基くサービス提供の姿勢を保ち、多様な選択肢をご提案していきたいと考えています。

メイトウ・ワークス

1. 各事業共通

(1) 作業種目と年間売上状況 (単位：円)

	陶芸	縫製	下請他	計
平成24年度	268,250	1,685,582	929,898	2,883,730
平成23年度	283,744	2,442,340	1,110,156	3,836,240

(2) 作業内容

● 縫製作業

変身ぬいぐるみを製作。全国の保育所や子育てサークルから注文を受ける。作業工程が多く、能力に合わせた作業があり、多数の利用者が参加する。

● 陶芸作業

動物はし置き、季節の人形、お皿などの小物陶器を製作。土に触れる、型抜き、製作、素焼きの絵付け、焼成後の仕上げなど多くの作業がある。

● 下請け作業

自動車部品の組み立て、部品の袋詰めなど、作業内容が明確で利用者に分かりやすいプログラム。

● 委託業務

タウン誌の配達、地域に密着した業務を請け負うことで、利用者の社会貢献につながっている。

(3) 利用者給与支給状況

- ・就労継続支援B型 時給 75 円 (最も多い方で 7,920 円 / 1月) 夏冬賞与 (最も多い方で 38,390 円) あり。
- ・生活介護 日給 150 円
- ・工賃総額 2,249,435 円

(4) レクリエーションプログラム・イベント

レクリエーションプログラムは生活介護を中心に行っているが、外部団体を招いて行う行事については、全体行事として行った。

- ・名東福祉会 30 周年記念イベント
- ・クリスマス会 (ポケットの会・高針北保育園児童招待)
- ・節分会 (めいとう朗読グループ)
- ・成人を祝う会 (対象者 1 名)

(5) 地域交流

年間延べ 490 名のボランティアに来所いただいた。作業やイベントに参加いただき、利用者との関わりを深めた。

高針北保育園の「あそびひろば」に招待参加。名東区の日フェスタ、めいとう福祉まつり、エコフェスタ、名東高校学園祭など地域で行われるイベントバザーに参加して交流を行った。

(6) 地域貢献

地域の町内会や子供会、障害者グループの陶芸教室などに休業日や夕方、施設の空き部屋を解放、年間延べ 71 団体が利用した。また、施設の駐車場を南自動車図書館の巡回ポイントとして利用いただいた。

地域の中学校から福祉体験や職場体験、大学生の介護体験や名古屋市職員の新人研修、福祉専門学校の実習など随時受け入れた。

2. 就労継続支援 B 型事業

平成 24 年 4 月 1 日より 10 名定員で事業開始。

通所による就労や生産活動の機会を提供するとともに、一般就労に必要な知識、能力を身に付けられるよう支援した。時間厳守や利用者間のあいさつを重視すると共に、作業の準備から納品まで利用者自身が考えて動けるようになった。

3. 生活介護事業

平成 24 年 4 月 1 日より 27 名定員で事業開始。

作業を中心とした活動を行うことで、社会参加と日中生活が安定するよう支援した。余暇支援として、ウォーキングや散歩プログラム、足湯やアロマセラピー、音楽活動など行った。

天白ワークス

1. 各事業共通

(1) 作業種目と年間売上状況 (単位：円)

	陶芸	焼き菓子	精米	下請け他	計
平成24年度	1,384,689	1,918,398	338,380	1,356,019	4,997,486
平成23年度	1,377,565	2,163,852	489,505	1,123,006	5,153,928

(2) 作業内容

● 陶芸

食器(コップ・皿)、置物、マグネット等を製作。土に触れ形を作る、水拭き(乾燥後)、絵付け・釉掛け(素焼きに)、焼成後の仕上げまでの工程に利用者が参加している。

● 焼き菓子

店舗兼製造場の「焼き菓子の店ロト」でクッキー・パウンドケーキ等の焼き菓子をすべて手作りで製造・販売している。材料の準備(刻む、ふるう)、計量、生地づくり、成形、袋詰め、包装までの工程を利用者が役割分担しておこなっている。

● 精米

市内の米問屋から近隣の地区で収穫された玄米を仕入れている。玄米を一粒一粒みて虫食いの米・草の実を選別後、機械にかけ計量・袋詰めして販売している。法人内のご家族に販売。注文を頂いてから白米にしている。

● 下請け

部品の組み立て、製品の袋詰め等の工程がわかりやすく、納期に余裕がある作業を導入している。作業工程を細分化・構造化することで、多くの利用者が参加できる。

(3) 利用者給与支給状況

生活介護 150円/日 就労継続支援 時間給(4~5時間/日) 夏・冬賞与あり。
工賃総額 1,746,925円

(4) レクリエーションプログラム・イベント

生活介護を中心に行っているが、バスハイク・交流会・クリスマス会は参加形態を就労継続B型の利用者との会議をして決めている。

● グループハイク

グループ別に場所や内容を選んで参加(4~6月に実施)

● バスハイク

観光バスを利用して希望者が参加(10月に実施)

● 音楽療法

月2回 講師によるミュージックケア 2グループに分けて利用

● 家族交流会

利用者・家族・ボランティア・職員の交流を目的(3月に実施)

● クリスマス会

ゴスペルグループによるクリスマスコンサート（12月に実施）

（5）地域交流

実行委員会から参加している天白区区民まつり。島田小学校が会場の御前場秋祭り。
あけぼの学園の祭り（夏・秋）製品販売で職員・ご家族(利用者)が参加
近隣にお住いのボランティアさんが活動の可能な日・時間で参加いただいている。

（6）地域貢献

中学生の1日体験学習(日中活動と一緒におこなう・事前訪問での事業所の紹介・説明)
教職課程履修の大学生の介護体験実習
介護職員基礎研修(ハローワークと提携した研修機関からの社会資源実習)

2. 就労継続支援B型事業

”働く“ことをより意識した環境で生産活動を提供(下請け作業が中心)した。
作業を継続的に提示し、働くことの意味・工賃を意識していただけるよう支援した。
月1回の会議で仕事、対人関係や余暇活動等の日程や参加を話し合いで決めた。
(利用者が司会・記録を務めている)。

3. 生活介護事業

利用者の個々の特徴(コミュニケーションスキル、介護度、活動)に合わせたグループ別に、作業を提供した。(基本的にできることをやっていただき、作業はコミュニケーションの媒介としている。継続して同じ内容の活動を提供することで生活の安定につながっている)健康支援としてウォーキング、リフレッシュプログラムとして散歩をおこなった。

はまなす

生活介護事業

(1) 作業種目と年間売上状況 (単位：円)

	下 請
平成 24 年度	140,265
平成 23 年度	133,845

(2) 作業内容

ポケットティッシュの包装、ナット・ワッシャーの袋詰め、ボルトのナット止め

(3) 利用者給与支給状況

500 円/月 工賃総額：138,500 円

(4) レクリエーションプログラム・イベント

● 散歩

公用車を使用して近隣の公園や公共施設まで出かけ、散歩、散策を行った。気分転換、健康増進、一般の方々との交流などを目的に、午前、午後とメンバーを替え実施した。

● 通常のレクリエーション

毎日午後の時間帯にゲーム、カラオケ、リラクゼーション、スポーツ、音楽、お菓子作り等のプログラムを行った。月間予定表を作成し、実施した内容の記録をとるなど、プログラムの質の向上を目指した。

● ソフトボール大会への参加

5 月及び 10 月に小幡緑地西園球技場において、天白ワークス、レジデンス日進利用者と合同で大会に参加した。

● スポーツ大会 (小運動会)

6 月 15 日午後より名古屋市障害者スポーツセンター体育館において、家族会と合同で小運動会を行った。

● プール活動

7 月から 8 月にグループに分かれて、名古屋市障害者スポーツセンター室内プールを利用した。

● 夏まつり

夏期休暇前日に昼食は特別メニューを提供し、午後よりゲームなどで楽しんだ。

● グループハイク

小グループによる日帰り旅行を 9 月、3 月と年間 2 回実施した。テーマパーク、動物園、水族館、公共施設、工場見学等に出かけた。

● フットベースボール大会への参加

11 月 7 日に鶴舞公園陸上競技場において、天白ワークスと合同チームで大会に参加した。

● 家族交流会

11月16日に利用者、家族会、ボランティア、職員間の親睦交流を目的として、日帰り旅行を実施した。名古屋市身障者福祉連合会福祉バスを利用し、岐阜県馬籠方面へ行き、会食をとおしてそれぞれの親睦を深めた。

● 年末パーティー

12月25日(火)に昼食(特別食)とゲームなどで楽しんだ。

(5) 地域交流

11/4 めいとうボランティア展参加(藤ヶ丘駅リニモス広場)

(6) 地域貢献

5/27 高針台一丁目町内会一斉清掃

8月 極楽学区盆踊り大会協賛金協力

11/25 高針台一丁目町内会一斉清掃

レジデンス日進／ハートフルアクト日進

1. 各事業共通

(1) 作業種目と年間売上状況 (単位：円)

	下請他
平成 24 年度	537,219
平成 23 年度	138,600

(2) 作業内容

自動車部品の組立て、ガス器具の部品組立を主な作業(生産活動)として提供している。本体の生活介護事業では、レクリエーションプログラムと組み合わせて日中活動を展開している。

(3) 利用者給与支給状況

年間総計で 545,086 円を利用者に還元している。内訳としては、生活介護事業対象者に夏期及び冬期の賞与一時金として 76,880 円、就労継続支援 B 型事業対象者は 468,206 円を支給している。

(4) レクリエーションプログラム・イベント

レクリエーションプログラムでは、主に月曜日・木曜日の午後の時間帯に実施している。特に、運動量の不足の軽減を目的に「ウォーキング」プログラムとして、約 30 分間音楽を流しながら室内を歩行している。隣接している「三ツ池公園」周辺に気分転換を兼ね散歩・散策に出かけている。また、季節に合わせた創作活動など、利用者が主体的に参加できるように取り組んでいる。

イベントプログラムでは、季節ごとの企画として、お花見会 4/5、流しそうめん 7/6、かき氷大会 8/17、花火大会 8/31、クリスマス会・クリスマスバイキング大会(委託給食業者に依頼して昼食をバイキング形式) 12/21、初詣 1/4、お餅つき大会 1/19(利用者の古希のお祝い含む)、節分豆まき 2/1、ミニ運動会 3/24 等を実施。ゴルフ大会招待観戦(中京テレビ・ブリヂストンレディースオープン)(5/18)に参加。秋には、日帰り旅行で観光バスを使用しての「ブルーメの丘」に 2 回に分けて出かけた。(9/26、10/10)

家族会と共同で「春まつり(たけのこまつり) 4/23」「レジデンスまつり(秋まつり) 11/23」を企画実施している。

定期的に毎月、第 2 水曜日に和太鼓の練習。第 4 金曜日に音楽療法をそれぞれ専門講師に来て頂いて実施している。

(5) 地域交流

「レジデンスまつり(秋まつり) 11/23」においては、野方地区の神楽囃子(お囃子)保存会の皆さんに来て頂いている。地域との交流を目的として、地元の子供から大人、利用者も一緒になっての交流を図っている。

法人嘱託医中心のドクターズバンドに、クリスマス(12/22)時期にコンサートを開催して頂いている。又、個人のボランティアとして、日進市民生委員活動から継続して参加して頂いている。

(6) 地域貢献

大学・専門学校からの保育士実習を受入れている。隣接した日進西学童保育所、動作法グループ(つばさの会)、子育て支援グループ、地域の市民グループに「地域交流スペース」の貸出しを実施している。

2. 就労継続支援B型事業

就労継続支援B型事業(定員10名)を従の事業所として、本体とは別の場所(日進市上ノ山)に「働く」ことを主にして展開をしている。また、毎月の工賃日には、昼食を近隣の中華料理店で食べに出かけている。中華店の皆さんとも顔なじみとなり、活動のメリハリや働く力、励みとなっている。

3. 生活介護事業・地域活動支援事業

平成24年4月の事業移行より、レジデンス日進の本体では、生活介護事業(定員30名)として、生産活動とレクリエーションプログラムと組み合わせて日中活動を展開している。

地域生活支援事業(市町村事業)としての「地域活動支援センター」事業は、定員15名。それぞれの市町村との契約になる為、契約市町村は、名古屋市、日進市、長久手町、尾張旭市となっているが。ここ数年、利用者数は減少しており、レジデンス日進の生活介護事業へ移行していく方向である。

* 参 考

	メイトウ・ワークス	天 白 ワークス	はまなす	レジデンス 日 進	法人全体
陶 芸	268,250	1,384,689			1,652,939
縫 製	1,685,582				1,685,582
焼き菓子		1,918,398			1,918,398
精 米		338,380			338,380
下請け他	929,898	1,356,019	140,265	537,219	2,963,401
計	2,883,730	4,997,486	140,265	537,219	8,558,700

H23 年度	3,836,240	5,153,928	133,845	138,600	9,262,613
H22 年度	4,385,658	7,666,376	113,615	391,400	12,547,449

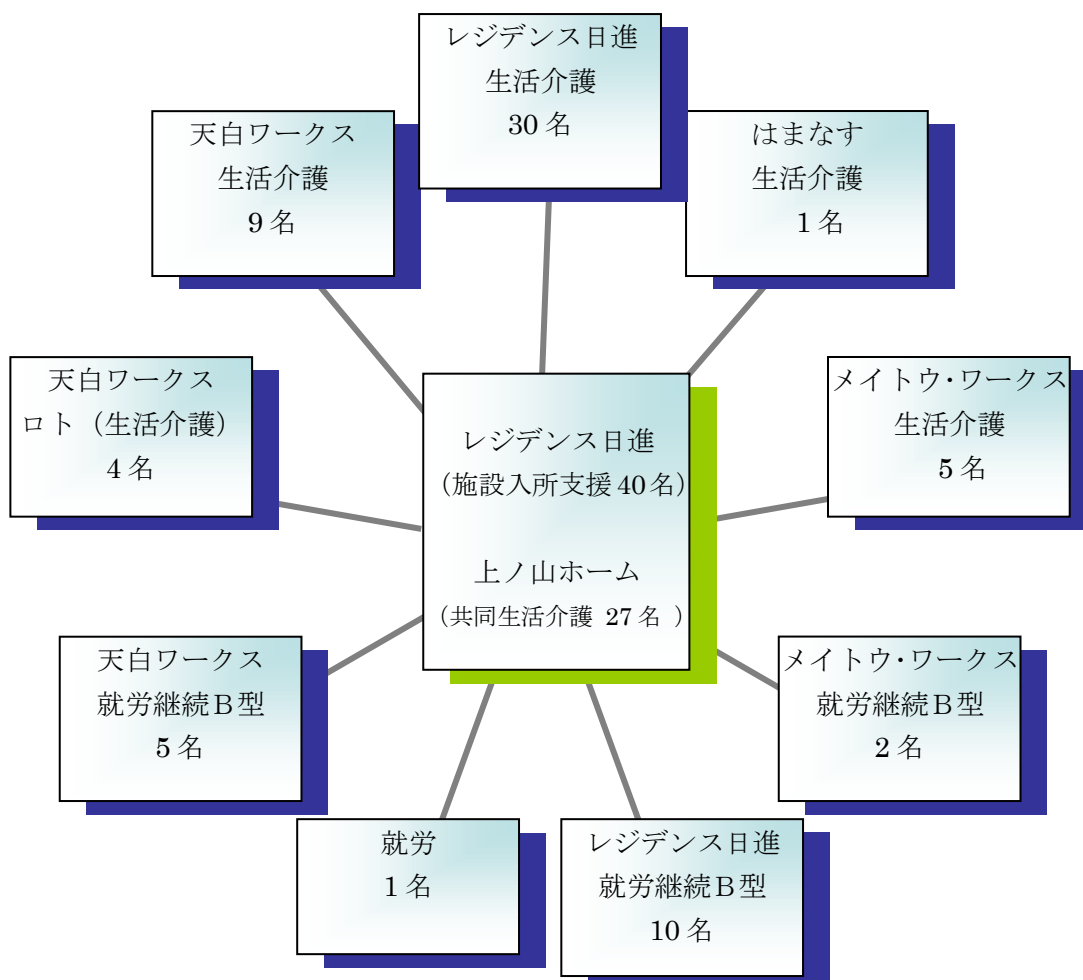
ナイトケア事業

名東福社会では、レジデンス日進を生活支援の拠点としてケアホームを展開しています。レジデンス日進の4つのユニットに加えて、上ノ山ホームもユニットと考え、ナイトケアのノウハウを生かすことで、安定したサービス提供を図ります。

今後、ナイトケア事業への期待は高まるばかりですので、健康で快適な生活の場を提供できる支援体制を創造していきます。

1. 生活の場と日中活動の場の連携

日中の活動場所が多岐に分かれる為、レジデンス日進及び上ノ山ホームと日中活動事業所との連携は不可欠になる。事業所の支援員間で利用者個々の様子・健康面等での伝達事項を積極的に共有するようにしている。



2. ナイトケア事業間の連携

施設入所支援及び、共同生活介護における職員配置は、レジデンス日進の職員を軸にシフト配置されている。また、法人の通所事業所の職員により、夕方からの、生活支援（夕食・入浴など）を中心にバックアップの体制を継続している。

上ノ山ホームは、平成24年6月より増設（18名 2住居）合計定員を27名（3住居）になり、その為、より一層の連携が必要になっている。利用者の病時における通院支援は、看護師を中心にレジデンス日進職員及び必要に応じて、法人内職員でバックアップ体制をとり、緊急時に対応している。

3. ユニット単位の支援

レジデンス日進（施設入所支援）は1ユニット10名程度のユニット単位、同様に、上ノ山ホームでも1住居（ユニット）9名での生活支援を基盤にして個別対応を中心としたニーズの充足に留意している。特に、入浴は、各ユニット（住居）に浴槽2個を設置しており、毎日、個別に入浴している。また、共有スペースとして、テレビ、テーブル、椅子等を配置して、朝、夕の食事はもとより、利用者がくつろげる空間としている。

4. 健康管理

レジデンス日進及び上ノ山ホームのナイトケア事業所における健康管理の重要性を踏まえ、看護師を中心となり、現場支援員の連携を図りながら取り組んでいる。

年2回（6/5、12/5）の定期健康診断、体重・血圧測定を実施。又、訪問歯科検診（9/6）、インフルエンザ予防接種（11/16）を実施した。

生活習慣病予防対策として、対象利用者は毎朝（休日は除く）及び午後からの時間を利用して30分間のウォーキングを実施している。また、感染症対策、通院支援として体調不良の利用者に対しての早めの医療機関への受診、精神科、歯科、眼科、皮膚科への継続受診も支援している。往診（月2回）を含め嘱託医を中心とした地域医療機関との連携に留意している。

また、利用者個別の「体調シート」を作成し、現場支援員との協力により利用者の毎日の体調および傷や怪我の位置、状況を記入し、特に傷や怪我については、入浴時にチェックをおこなっている。

緊急対応マニュアルの整備として、てんかん発作の際の個別対応シートを作成し、特に夜間帯における緊急時に、より早く対応できるように各ユニットに設置している。

また、23年度よりAED（自動対外式除細動器）を設置し、緊急時に備えている。

5. 金銭等の管理

レジデンス日進及びホーム利用者の財産管理について、「施設利用者の年金等取扱要領」に従い、適正・確実を旨としておこなっている。

年金及び現金管理をしている利用者には行政等の手続きの代行もしている。年金管理は家族、後見人等に任せている利用者には現金のみ事業所が預かり、管理している。

6. 季節行事

花火大会 8/31 には、夏の夕方に夕食を終えて、レジデンス日進及び上ノ山ホームの利用者が集まり実施した。パジャマで参加した利用者もおおり、くつろいだ雰囲気で行われた。

毎年、12月頃には、家族会がクリスマスイルミネーションの飾りつけをしてライトアップをして頂いており、利用者の目を楽しませている。

給食においては、年末には年越しそば、お正月にはおせち料理、端午の節句などその時季を考慮して提供している。

児童発達支援事業・放課後等デイサービス事業

児童行動療育センターは、平成 19 年 5 月に開所して以来、行動療法に基づくセラピーの場として活動してきました。

児童期の過ごし方で、成人期の行動障害は軽減されます。特に就学前の療育のあり方は重要です。児童行動療育センターでは、専門スタッフによるセラピーを通じて、ご家族に子どもへの正しい対応を学んでいただくことに力を注いできました。

1. 利用児童の状況 (P.7~10 利用者の状況参照)

3歳児から小学校入学前までのお子さんに利用していただきました。3歳児検診の状況や、ことばが遅い、多動である等に保護者が気づかれる3歳以降から利用を始める方が多く見られます。

また、行動療法を療育の手法として採用している事業所であるために、行動療法を受けるために利用を希望される方が、利用希望者の大半を占めています。

したがって、利用児童の居住地も、日進市、名古屋市全域にとどまらず、県外等、遠隔地からの利用者もみえます。

障害の種別としては、年齢が低いこともあり、障害名が付かない児童も見られますが、広汎性発達障害（自閉症）と診断された子どもが大半を占めています。

● 居住地内訳 (計 43名)

名古屋市	24	東郷町	7	稲沢市	5
日進市	2	他愛知県内	4	岐阜県	1

● 年齢区分

	～3歳		～4歳		～5歳		～6歳		7歳～		小計		計
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	
人数			8	1	12	3	15	4			35	8	43

2. 利用相談内容

利用にあたっての相談では、年齢が低い段階では「子どもとやりとりができない」「言葉が出ない」等の親子間に関する相談が多く、年齢が上がっていくに連れて「ルールが守れない」「お友達とのやりとりができない」等、社会性に関する相談が多くなっています。言葉の問題が他人とのやり取りを難しくし、パニックなどの行動を取らせることになっていることを伺われます。

	ソーシャルスキル	多動	パニック	言語	自己刺激	他害	コミュニケーション	目線	こだわり	異食	計
～2歳											
3歳											
4歳		2	5	4			3	1	6		17
5歳	4	3	5	9	1		9	1	5		37
6歳	15	1	5	9	1	2	15	2	4		54
計	19	6	15	22	2	2	27	4	15		

3. サービス内容

人間の行動原理や学習理論に基づいた、行動療法によるセラピーを実施しています。セラピーには専門スタッフを配置しております。

療育プログラムについては、ひとり一人の子どもに適したプログラムをスタッフが作成しますが、保護者にも参加していただき、保護者の相談や教育も重視しています。

期間の前半は個別療育を主として実施してきましたが、後半からは、小学校の普通級へ通う子どもの課題に対応するために、模擬授業形式の集団療育を実施しました。

4月～8月

種類	内容	利用時間	定員	利用料金
通所療育①	個別・集団療育	9:30～10:30	2名	約1000円/1回
通所療育②	個別・集団療育	11:00～12:00	2名	約1000円/1回
通所療育③	個別・集団療育	13:30～14:30	2名	約1000円/1回
通所療育④	個別・集団療育	15:00～16:00	2名	約1000円/1回
通所療育⑤	個別・集団療育	16:30～17:30	2名	約1000円/1回
家庭訪問	家庭訪問により児童や家族の支援・指導	9:30～17:30	月2回まで利用可	1時間まで約200円 1時間以上約300円

9月～3月

種類(月、火、水、金)	内容	利用時間	定員	利用料金
通所療育①	個別療育	9:30～10:30	2名	約1000円/1回
通所療育②	個別療育	11:00～12:00	2名	約1000円/1回
通所療育③	個別療育	13:30～14:30	2名	約1000円/1回
通所療育④	個別療育	15:00～16:00	2名	約1000円/1回
通所療育⑤	個別療育	16:30～17:30	2名	約1000円/1回
種類(木)	内容	利用時間	定員	利用料金
通所療育①	個別療育	9:30～12:00	2名	約1000円/1回
通所療育②	個別療育	13:30～14:30	2名	約1000円/1回
通所療育③	集団療育	15:00～17:30	6名	約1000円/1回
家庭訪問	家庭訪問により児童や家族の支援・指導	9:30～17:30	月2回まで利用可	1時間まで約200円 1時間以上約300円

4. 関係機関との関係

職員派遣による行動療法による療育についての説明や、教育機関、福祉機関に対して専門的な助言をおこなってきました。

また、保育士等の見学受け入れにより、支援内容についての提言等も実施しました。

また、法人内の成人利用者に対する支援についても、助言を行ってきました。

機関	実施日	形態	内容
どんぐり保育園	4/12	協議会参加	支援相談
保護者	4/20	電話相談	支援相談
日進市自立支援協議会	5/8	協議会参加	子ども部会参加
すくすく園	5/11	見学	見学訪問
ひまわり園	6/20	見学受け入れ	施設紹介・事業説明、行動療法について説明
レジデンス日進	6/20	職員派遣	支援相談
カンガルー教室	6/21	見学	見学訪問
日進市自立支援協議会	7/3	協議会参加	子ども部会参加
カンガルー教室	7/10	見学受け入れ	支援相談
カンガルー教室	7/11	見学受け入れ	支援相談
カンガルー教室	7/12	職員派遣	見学訪問
カンガルー教室	7/13	見学受け入れ	支援相談
カンガルー教室	7/24	見学受け入れ	支援相談
カンガルー教室	7/26	見学受け入れ	支援相談
保育士	8/3	見学受け入れ	施設紹介・事業説明、行動療法について説明
カンガルー教室	8/7	見学受け入れ	支援相談
保育士	8/17	見学受け入れ	支援相談
日本聴能言語福祉学院	8/21	見学受け入れ	施設紹介・事業説明、行動療法について説明
Paka Paka	8/31	見学受け入れ	児童デイサービスの施設紹介・事業説明、行動療法について説明
日進市自立支援協議会	9/4	協議会参加	子ども部会参加
伊勢崎市市民病院心理士	10/5	見学受け入れ	施設紹介・事業説明、行動療法について説明
はまなす	10/9	職員派遣	支援相談
天白ワークス	10/15	職員派遣	支援相談
カンガルー教室	10/18	見学受け入れ	支援相談
天白ワークス	10/22	職員派遣	支援相談
三好養護学校学生	10/24	来所	支援相談
三好養護学校教諭	11/5	電話相談	支援相談
NPO 法人くるくる	11/8	来所	支援相談

日進市自立支援協議会	11/13	協議会参加	子ども部会参加
メイトワークス	11/13	職員派遣	支援相談
三好養護学校教諭	11/15	電話相談	支援相談
日進市相談支援センター	11/20	電話相談	支援相談
天白ワークス	12/20	職員派遣	支援相談
メイトワークス	12/26	職員派遣	利用者アセスメント
城北幼稚園教諭	12/26	見学受け入れ	支援相談
幼稚園教諭	12/28	見学受け入れ	支援相談
日進市自立支援協議会	1/8	協議会参加	子ども部会参加
レジデンス日進	1/15	職員派遣	利用者アセスメント
ひまわり福祉会	2/15	見学受け入れ	施設紹介・事業説明、行動療法について説明
地域療育等支援事業	2/22	講師派遣	行動療法についての講演会
東郷町相談支援センター	2/27	見学受け入れ	施設紹介・事業説明、行動療法について説明
日進市自立支援協議会	3/5	協議会参加	子ども部会参加

5. 職員研修

研修名	実施日	主催	内容
勉強会	4/11		テーマ学習 インテーク・アセスメント
勉強会	4/18		テーマ学習 KIDS の解釈
勉強会	4/25		テーマ学習 KBPAC
勉強会	4/28	中京大学心理学部 ゼミ	事例検討
勉強会	5/2		課題シュミレーション
勉強会	5/9		テーマ学習 シェイピング
勉強会	5/16		事例検討
勉強会	5/23		事例検討
勉強会	5/30		課題シュミレーション
勉強会	6/2	中京大学心理学部 ゼミ	事例検討

講演会	6/3	NPO 法人 星槎教育 研究所	メンタルサポートとソーシャルスキル 子どもの困り感の理解ー
勉強会	6/6		テーマ学習 課題分析
勉強会	6/13		事例検討
講演会	6/16.17	アイズサポート	知的障害を伴う自閉症について・アスペ ルガー症候群と他の発達障害について 池田実先生
勉強会	6/20		課題シュミレーション
資格認定講座	6/23.24	自閉症スペクトラ ム学会	講座
勉強会	6/27		事例検討
勉強会	6/30	中京大学心理学部 ゼミ	事例検討
勉強会	7/11		テーマ学習 機能分析
勉強会	7/25		事例検討
研究会	7/28	CCBT	論文紹介 山本竜也先生・認知療法の実践 田中恒彦先生
勉強会	8/8		事例検討・課題シュミレーション
研究会	8/11	J☆s Kep 研究会	社会性の学習について 加藤智子先生
勉強会	8/22		事例検討・課題シュミレーション
勉強会	9/12		事例検討・課題シュミレーション
学会	9/21.22.23	日本行動療法学会	認知行動療法の「今」
勉強会	9/26		事例検討・課題シュミレーション
勉強会	9/29	中京大学心理学部 ゼミ	事例検討
勉強会	10/10		事例検討・課題シュミレーション
勉強会	10/20	中京大学心理学部 ゼミ	事例検討
研究会	10/20	EB 研究会	事例検討
研究会	10/24	CCBT	ペアレントトレーニング 榎本みお先 生・首藤紗弥子先生
講演会	10/10	ゆうこうの家	発達障害をもつお子さんへのかかわり方 早川星朗先生

勉強会	11/11		事例検討・課題シュミレーション
講演会	11/14	豊田市子ども発達センター	特別な支援を必要とする子どもへの支援の輪を広げ方について 田中康雄先生
勉強会	11/18		事例検討・課題シュミレーション
勉強会	11/28		事例検討・課題シュミレーション
勉強会	12/12		事例検討・課題シュミレーション
研究会	12/15	EB 研究会	事例検討
勉強会	12/26	中京大学心理学部ゼミ	事例検討
勉強会	1/12		事例検討・課題シュミレーション
講演会	1/16	保育スキルアップ研究所	保育支援スキルアップ講座 中山譲先生
講演会	1/26	NPO 法人アスペ・エルデの会	自分の行動をコントロールする力をどう育てるか
講演会	1/27		事例検討・課題シュミレーション
研究会	1/30	J☆sKep 研究会	精神科の医師による医療関係の話 中野先生
講演会	1/3		事例検討・課題シュミレーション
勉強会	2/11	TEACCH プログラム研究会 愛知支部	その人らしい就労を目指して 中山清司先生
勉強会	2/13		事例検討・課題シュミレーション
講演会	2/27	ゆうこうの家	現実的な進路・就労について 大島正秀先生 (守山養護学校校長)
勉強会	3/10		事例検討・課題シュミレーション
講演会	3/13	NPO 法人子ども支援室カシオペア	感覚統合と作業療法
勉強会	3/16		事例検討・課題シュミレーション
講演会	3/27	アイズサポート	発達障害児の療育支援 行動療育の専門家の養成
講演会	3/30	名市大病院小児科心理発達グループ	PARS についてー臨床的観点からー

相談支援事業

名東福祉会は発足当初から、地域にお住まいの障害をもった方々の支援を積極的に行ってきました。当事者の意向に沿った地域生活支援の重要性は増すばかりですし、そのための地域ネットワークの構築は必須です。

平成 24 年 4 月からの法改正により、相談支援事業が大きく拡充されました。個別の相談から地域づくりの推進役まで、相談支援が果たすべき役割を踏まえて、地域に貢献できる事業展開をしていきたいと考えています。

1. 相談業務

(1) 新規相談の状況

平成 24 年度の新規相談者実数、内訳等は以下の通り。相談受付作成分のみをカウントしており、電話による短時間の情報提供やサービス調整は含まれていない。

単身世帯や、他の家族も生活課題を抱えている世帯からの相談が目立つ印象で、生活全般への介入や幅の広い調整が必要となっている。

相談者数が 1 割減っている一方で、「健康・医療」「就労」「権利擁護」に関する相談が増えている。

【居 所】

	名古屋市内				市外	県外 奈良県	不定	計
	名東区	千種区	天白区	西区				
相談者数	49	1	1	1		1		53

【年齢・性別】

	児童（～17 歳）	成人（18 歳～）	計
男	8	24	32
女	3	12	15
不明	3	3	6
計	14	39	53

【障害種別（複数カウント）】

種 別	身体	重症 心身	知的	精神	発達 障害	高次 脳機能	不明・ 無手帳
相談者数	22	0	22	6	7	1	7

【相談内容（複数カウント）】

	サービス 利用	障害・症状 の理解	健康・ 医療	不安解消・ 情緒安定	保育・ 教育	家族関係・ 人間関係
相談件数	42	23	17	11	6	25

家計・ 経済	生活技術	就労	社会参加・ 余暇活動	権利擁護	その他
13	14	16	4	8	30

(2) 相談受付の状況（新規相談を含む）

平成 24 年度に関わった相談者数、内訳等は以下の通り。相談受付の作成までには至らなかったケースも含まれており、1 年間の相談支援実績そのものと言える。

前年度との比較で、「精神障害」「発達障害」「無手帳」の方に関する相談が増えている。新規相談同様、「健康・医療」「就労」「権利擁護」に関する相談が目立つが、単身生活を送る方で、就労を目指す場合、医療機関との連携や、権利擁護機関との金銭管理に関する調整が顕著であることの表れかと思われる。「生活技術」に関する対応も多い。

計画相談の開始とともに、指定特定相談支援事業所にも相談機能が広がり、委託事業所に地域の相談が集中するという状況ではなくなっており、これが相談者数の減少として表れていると考えられる。

【居 所】

	名古屋市内					市外		県外	不明	合計
	名東	千種	守山	天白	西	日進	豊田	奈良		
人	181	3	1	1	1	1	1	1		190

【年齢—性別】

	児童（～17歳）	成人（18歳～）	計
男	15	88	103
女	4	52	56
性別不詳	15	16	31
小計	34	156	190

【障害別（複数カウント）】

種 別	身体	重症心身	知的	精神	発達障害	高次脳機能	不明・無手帳
相談者数	92	9	129	20	37	3	29

【相談内容（複数カウント）】

	サービス利用	障害・症状の理解	健康・医療	不安解消・情緒安定	保育・教育	家族関係・人間関係
相談件数	165	53	62	42	14	84

家計・経済	生活技術	就労	社会参加・余暇活動	権利擁護	その他
39	40	40	24	25	86

(3) 月別実績

障害程度区分の更新者が多数の年であり、認定調査数が前年度の約2倍となっている。また、計画相談の開始により、当センターとの契約者は「訪問」「外来」実績にはカウントしないため、件数が減少している。

名古屋市では基本的に指定特定事業所が計画作成を行い、委託事業所は体制整備や事業所支援を役割としているが、相談者の状況や経緯に応じて、計画相談の契約を行っている。

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
相談	訪問	33	37	34	25	28	15	36	30	26	15	17	14	310
	外来	73	83	62	86	79	71	76	64	37	53	44	37	765
担当者会議		3	5	3	3	1	2	3	4	3	2	2	4	36
認定調査		36	22	24	22	25	22	30	28	22	29	31	23	314
配食アセス		0	1	2	0	1	0	3	4	3	4	2	4	24
計画相談	案	0	1	1	0	2	1	0	1	1	3	1	4	15
	計画	0	0	0	0	0	1	0	0	1	1	2	1	6
	モニタ	0	0	0	0	0	0	0	2	2	2	2	3	11

2. 名東区障害者自立支援協議会

障害者自立支援協議会は、地域に暮らす障害をもった方々やそのご家族の抱える生活課題を、地域の様々な立場の方々が協働することによって解決していこうという仕組みである。名古屋市では各区ごとに協議会が設置されており、障害者地域生活支援センターがその運営を担っている。

6年目を迎えた名東区自立支援協議会は、年々実績数を伸ばす中、特に24年度は児童関連の事業所の連携を目指して「そだつ」部会を設置したことが大きな動きと言える。部会の取り組みを通じて、これまで各事業所で抱えていた様々な課題を共有・検討し、地域の支援力の向上につなげていきたい。これは障害児相談の開始や東部療育センターの設立という今後の施策動向に即した、必然的な動きであると考えている。

名東区福祉課を通じた民生・児童委員協議会への学習会講師派遣も、地域の方々の障害理解を進める上で貴重な機会となっている。

限られた障害福祉関係者だけでは、なかなか地域生活支援のネットワークは広がらない。今後も、より多くの一般区民を想定した取り組みを継続していきたい。

	実施年月日	会場	参加	内容
協議会	H24/4/25(水)	区役所	20名	区内の状況・昨年度報告・今年度計画
	H24/10/29(月)	〃	22名	前期報告・制度動向・困難事例共有

運 営 会 議	H24/5/25(金)	区役所	14名	部会報告 区政運営方針 情報提供 事例共有	こどもに関する部会の検討
	H24/6/25(月)	〃	13名		民生児童委員協議会参加
	H24/7/23(月)	〃	12名		計画相談動向
	H24/8/31(金)	〃	12名		計画相談進捗・虐待防止法
	H24/9/28(金)	〃	14名		市虐待相談支援事業
	H24/11/29(木)	〃	14名		民生児童委員協議会参加
	H24/12/27(木)	〃	10名		社協 福祉教育講座
	H25/1/24(木)	〃	13名		来年度に向けて
	H25/2/21(木)	〃	7名		来年度に向けて
H25/3/28(木)	〃	14名	来年度に向けて		
事務局 会 議	H24/4/19(木)	区役所	9～12 名	計画相談 区政運営方針 事例共有	事務局会議のあり方
	H24/5/21(月)	〃			こどもに関する部会準備
	H24/6/18(月)	〃			そだつ部会立上
	H24/7/13(月)	〃			
	H24/8/23(木)	〃			本会に向けて
	H24/9/21(金)	〃			虐待防止法関連
	H24/10/22(月)	〃			本会に向けて
	H24/11/22(木)	〃			民生児童委員協議会参加
	H24/12/21(金)	〃			運営会議とのつながり
	H25/1/21(月)	〃			来年度に向けて
	H25/2/18(月)	〃			来年度に向けて
H25/3/21(木)	〃	計画相談を通じた区内課題			
まもる 部 会	H24/4/20(金)	区役所	6名	今後の部会のあり方	
	H24/5/15(火)	区社協	15名*1	田原市自立支援協議会事務局との意見交換	
	H24/6/22(金)	区役所	7名	区内事例の共有	
	H24/7/30(月)	〃	8名	札幌市事例の検討	
	H24/8/30(木)	〃	6名	水道閉栓措置・市虐待相談センター	
	H24/9/27(木)	〃	4名	市虐待相談支援事業・研修会企画	
	H24/11/2(金)	〃	6名	制度動向・研修会打ち合わせ	
	H24/11/8(木)	〃	16名	研修会「相談支援を振り返る」	
	H24/12/4(木)	〃	5名	虐待通報後のシミュレーション	
	H25/1/18(金)	〃	6名	権利擁護体制	
	H25/2/22(金)	〃	5名	各種センターの機能	
	H25/3/22(金)	区社協	4名	1年間の振り返り	
し る 部 会	H24/5/31(木)	名東 C	5名	今年度の活動	
	H24/7/26(木)	見学	4名	ひまわりの風	
	H24/11/22(木)	名東 C	6名	今後の取り組み	
	H25/2/21(木)	〃	5名	事業所ガイドブックの作成について	

うごく 部 会	H24/4/25(水)	こいけ H	4名	バリアフリーマップ*2・ヘルパー情報
	H24/5/15(火)	〃	6名	〃 〃 ・制度
	H24/6/13(水)	名古屋駅	4名	マップ写真撮影
	H24/7/17(水)	こいけ H	6名	バリアフリーマップ・ヘルパー情報・制度
	H24/8/21(火)	〃	6名	〃 〃
	H24/9/18(火)	保健所	6名	〃 〃
	H24/10/16(火)	〃	5名	〃 〃
	H24/11/14(水)	こいけ H	4名	〃 〃
	H25/1/22(火)	〃	6名	〃 〃
	H25/2/19(火)	東山公園駅	4名	〃
	H25/3/13(水)	こいけ H	5名	〃 ・ヘルパー情報
	そだつ 部 会	H24/6/11(月)	障 SC	8名
H24/7/5(木)		区役所	6名	事例検討・連携のあり方
H24/9/6(木)		〃	11名	部会長選出・めいとう kids の取り組み
H24/10/19(金)		〃	10名	事業所の近況や課題・研修会案内
H24/11/15(木)		〃	6名	アンケート結果に基づいた意見交換
H25/1/25(金)		〃	8名	事業所の近況・10代前半の性に関する支援
H25/2/26(火)		〃	6名	事業所の取組の振り返り・「挑発」行動
H25/3/14(木)		〃	9名	事業所の近況・事例検討 (「挑発」行動)
事 例 検 討 会	H24/4/26(木)	区社協	13名	知的障害、就労
	H24/5/29(火)	〃	9名	精神障害、在宅生活維持のモニタリング
	H24/6/27(水)	〃	13名	知的障害児、家族課題
	H24/7/27(金)	〃	8名	知的障害、就労
	H24/8/24(金)	〃	7名	精神障害、就労のモニタリング
	H24/9/24(月)	〃	8名	発達障害、サービス利用拒否
	H24/10/26(金)	〃	9名	発達障害、無銭飲食繰り返し
	H24/11/30(金)	〃	9名	知的障害児、家族課題のモニタリング
	H25/1/31(木)	〃	6名	発達障害、サービス拒否のモニタリング
	H25/2/20(水)	〃	4名	知的障害、交友関係の課題
H25/3/19(火)	〃	4名	精神障害、就労のモニタリング	
区政運 営方針	H24/5/24(木)	区役所	5名	概要確認・カタログ内容・スケジュール
	H24/7/12(木)	〃	5名	進捗・サンプル確認・製品展示

*1 田原市自立支援協議会 事務局メンバー7名参加

3. 関係機関・団体との連絡調整会議／職員の講師派遣

県市や地域の関係機関との連携、相談支援体制整備への協力のため、外部会議への参加や研修講師依頼を積極的に引き受けている。24年度は特に、計画相談や障害者虐待防止法関連の研修が各地で開催されたが、実際に相談支援に携わっている立場からの発信機会として、意義が大きいと思われる。

会議名	実施日	参加機関等	内容
連絡調整会議			
名古屋市障害者地域生活支援 C 連絡会	5/30,7/31,10/30 12/26,2/8,3/26	名古屋市担当課 市関係機関 各区支援 C	制度動向説明、市町村事業、支給決定事務、認定調査、テーマに沿った話し合いなど
名古屋市支援 C 東ブロック会	4/23,7/5,10/11 2/1,	中・昭和・千種・名東各区支援 C	情報共有、テーマに沿った話し合い、施策提言のあり方
愛知県障害者自立支援協議会人材育成部会	8/2,1/16,2/19	各分野の研修講師の代表・学識経験者	県主催・委託研修のあり方、次年度への提言
なごや障害者就業・生活支援 C 会議	11/7	就・生支援 C 行政等関係機関	就業支援と生活支援システム構築の検討
講師派遣			
名障連主任・中堅研修(障害者ケアマネジメント)	7/4,8/1,8/28,9/5 10/15,11/12 12/5	名古屋市・名古屋市知的障害者福祉施設連絡協議会主催	名古屋市知的障害者福祉施設連絡協議会主催のケアマネ研修。主任・中堅職員を対象に、講義とグループ演習を行う。
愛知県相談支援従事者現任研修	7/18,7/19,8/9	愛知県主催	県内相談支援専門員の資格更新研修
愛知県相談支援従事者初任者研修	8/29,9/6,10/1 10/9,11/13-15 12/12,12/13,12/19 12/20,1/9,1/10	愛知県主催	県内障害福祉関係者の相談支援専門員資格取得研修
愛知県相談支援従事者専門コース別研修	8/11,10/18,10/19 10/27,1/26	愛知県主催	セルフマネジメント・権利擁護・成年後見制度・地域移行定着、スーパービジョン
愛知県相談支援専門員派遣事業	6/19,6/28,8/22 12/24,2/28,3/12	愛知県主催	計画相談・事例検討手法(日進・知多・小牧・みよし)
事例検討会	12/6	北区協議会主催	事例検討の手法紹介
障害者虐待防止法講演会	1/29	豊明市主催	障害者虐待防止法に関する市民向け講演会

4. 職員研修

名古屋市主催の研修を中心に参加し、スキルアップを図った。

名 称	実施日	内 容
名古屋市障害者相談支援従事者研修会①	7/24	精神障害をもちながら地域で暮らすこと
愛知県障害者虐待防止・権利擁護研修 成年後見制度利用促進研修	9/3	障害者虐待防止法、権利擁護とネットワークづくり、成年後見制度、現状と課題
第 2 回実践ケアマネジメントセミナー	9/17	ケア会議演習（高齢者と障害者が同居する世帯、ダウン症者の就労支援）
名古屋市障害者相談支援従事者研修会②	11/30	発達障害の特性と対応～医療機関との連携～
	12/14	発達障害相談のロールプレイ
名古屋市障害者相談支援従事者研修会③	2/14	障害者虐待について支援者がどのような支援をするべきか

サービス品質の向上を目指した取り組み

名東福祉会は、提供するサービスの品質管理を法人全体で行いたいと考えています。障害福祉を取り巻く環境の変化はまだまだ続きますが、法人・事業所の特色を生かしながら、利用者に満足していただけるサービスの提供を目指していきます。

そのためにも、人材育成やサービス改善の仕組みは必須です。

1. 委員会

【安全委員会】

(1) 目的

日常の支援において起こりうる事故・怪我・医療・看護・衛生を想定し、安全を確保するための考え方や具体的な方法を検討し、実践場面での判断・対応に結び付けていく。

(2) 構成

参加希望職員 5 名、本部長、(看護師、管理栄養士)

(3) 活動報告

- 4/6 「再発防止のために (転倒による鎖骨骨折)」
- 4/27 「夜間巡回時の報告について」
- 5/25 「リスクを背負うということ」
- 6/22 「パニックについて」
- 7/27 「熱中症対策について (個別ケース)」
- 8/31 「ケアホームからの外出について (本人の意思によるケース)」
- 9/28 「マイケル・サンデルの白熱授業から考える」
- 10/26 「ケアホームからの夜間外出 (職員が気づいていないケース)」
- 12/28 「ヒヤリ・ハットから考える」
- 2/15 「ヒヤリ・ハット提出について」
- 3/22 「スケジュール変更による不調について」

(4) 成果等

法人職員から挙げられたヒヤリ・ハット事例を取り扱っての検討を繰り返したことにより、参加職員のみ限定されてしまうが、単純に「危険＝中止・廃止」ではなく、徐々に、「どうすれば継続できるのか」という視点で考えることができるようになってきた。

また、取り扱っているヒヤリ・ハット事例の提出が極端に減少している原因のひとつとして、提出後の反応の鈍さが挙げられたことから、各事業所の所長に積極的に反応してもらえるよう提案することができた。

【安心委員会】

(1) 目的

利用者に安心して事業所のプログラムを利用していただくために、利用者の行動を利用者の立場から理解し、行動の理由に対応した支援を行う方法として行動分析を活用し、支援技術の向上を目指す。

(2) 構成

各事業所希望職員 (14名)

(3) 活動報告

- 4/13 (天白ワークス)「こだわりへの対応」
- 4/26 (レジデンス日進)「職員の反応を確認する行動への対応」
- 5/10 (天白ワークス)「通所支援」
- 5/24 (レジデンス日進)「自分ペースへの対応」
- 6/14 (天白ワークス)「アセスメント」
- 7/12 (天白ワークス)「コミュニケーション支援」
- 8/9 (メイトウ・ワークス)「こだわり行動への対応」
- 9/13 (メイトウ・ワークス)「支援におけるコストについて」
- 9/15 (レジデンス日進)「行動分析の基礎知識の再確認」
- 10/11 (天白ワークス)「環境調整について」
- 10/22 (レジデンス日進)「環境調整について」
- 11/8 (天白ワークス)「統一された支援の必要性について」
- 11/17 (レジデンス日進)「統一された支援の必要性について」
- 12/13 (天白ワークス)「支援目標の立て方について」
- 12/15 (レジデンス日進)「注目を求める行動への対応1」
- 1/10 (天白ワーク)「支援と虐待について」
- 2/14 (天白ワークス)「支援とは何をすることか」
- 2/16 (レジデンス日進)「注目を求める利用者への対応2」
- 3/16 (レジデンス日進)「注目を求める利用者への対応3」
- 3/21 (天白ワークス)「他害行動の理由について」

(4) 成果等

行動分析学の考え方から、利用者の行動を支援者の視点ではなく、利用者の立場から捉えることにより、支援者が自身の支援行動を見直す機会を持つことができるようになり、支援を含めた環境改善に向けて、個々の利用者に応じた支援計画を立てることの重要性を認識し、実践できるようになってきた。

【接遇委員会】

(1) 目的

事業所においてサービスを提供する上での「接遇」のあり方について検討し、改善提案を行うことを目標として開催。実際には、狭義の「接遇」に留まらず、利用者との関係性の振り返りやその背景にある制度理解までも含めて取り組んだ。

検討を進める中で、個別支援計画の重要性や法人マネージャー研修との連携の必要性が再認識できた。

(2) 構成

各事業所の希望職員(10名)・名東区障害者地域生活支援センター

(3) 活動報告（検討テーマ）

年月	テーマ	備考
H24.4	「選択」のあり方	
5	職員と利用者の関係のあり方①	
7	職員と利用者の関係のあり方②	マネージャー研修へ提案
8	職員と利用者の関係のあり方③	M 研修結果を受けて
9	サービス等利用計画と個別支援計画	制度理解
10	障害者虐待防止法について	制度理解
11	個別支援計画作成について①	M 研修結果を受けて
12	個別支援計画作成について②	
H25.1	アセスメントのあり方	M 研修へ
2	職員はどんな気持ちで利用者と接しているか？	M 研修へ
3	これまでのまとめ・今後のあり方	

(4) 成果等

参加職員から、「各事業所の様子や工夫が分かった」「日常、現場で行っていることがつながった」「制度理解ができた」といったコメントをいただき、一定の満足度は得られたと考えている。

各事業所での接遇の向上について検討した結果、個別支援計画の重要性に話題が行き着いたのが大きな成果で、今後の事業所ごとの改善行動に期待したい。

【給食委員会】

(1) 目的

利用者の健康・安全管理の観点から給食サービスの内容をチェックし、法人栄養士を中心に委託業者と一体となり、よりよい食事サービスの提供につなげていき、法人全体の利用者の健康及び食の質の向上を目指す。また、委員会は利用者の将来に向けての健康を考えていく機会とし、その為の情報発信をしていく。

(2) 構成

事業所支援員各 1 名・法人栄養士・レジデンス日進所長
委託給食業者（エリアマネージャー1名、管理栄養士 2 名）

(3) 活動報告

毎月第 2 水曜日に実施

- ・ 利用者個別対応の検討（健康、食品アレルギーを考慮した提供）
- ・ 各月の食事提供方法の検討
- ・ 季節感を重視した食事提供、イベント食等、楽しめる食事提供の提案
- ・ 適温食の提供検討
- ・ 冬期における食事提供温度の改善について

- ・ 委託業者との折衝、交渉
- ・ 委託業者の講習会に出席 1/24（木）
法人栄養士、レジデンス日進所長

(4) 成果等

- ・ 委員会を通して、委託給食業者と協働して、法人全体の利用者の健康及び食の質の向上を目指した。
- ・ 献立は委託給食業者の管理栄養士と法人栄養士を中心に協働して、より健康及び食の質に配慮した食事提供につなげた。

2. 法人職員研修

【マネージャー研修】

(1) 目的

法人事業所の所長・副所長を対象に、法人理念に沿った事業所の運営管理について、参加者の意見交換を通じて整理し、改善行動に活かすことを目的として開催。会議進行の研修としても位置付けている。

(2) 構成

各事業所所長・副所長（10名）、本部長

(3) 活動報告（検討テーマ）

年月	検討テーマ
H24.4	職員の不適切な行動について
5	1年間の振り返り・今後検討すべき課題
6	業務マニュアルの検討
7	接遇委員会からの提案「職員と利用者との関係のあり方」
8	安全委員会からの提案
9	安心委員会からの提案「困った行動の理解」
10	障害者虐待防止法について
11	個別支援計画のあり方
12	〃
H25.1	接遇委員会からの提案 「個別支援計画、アセスメント（書式）について」
2	接遇委員会からの提案 「職員はどういう気持ちで働いているか」の理解
3	平成24年度事業報告のあり方

(4) 成果等

事業所の運営管理において、最も重要なのは職員に、何をどう伝え、評価をを行い、育成していくかであると思われる。その意味で、各事業所の課題を共有し、解決に向けてどこに視点を置いて考えるかを検討することは、意義があることであろう。

今年度は特に、個別支援計画やアセスメントのあり方に焦点を当て、利用者理解や支援法方法を組織的に行うためのツールの再認識ができたと考えている。

3. 機関誌「WORKS」編集部

法人機関誌「WORKS」を発行。事業の紹介や制度動向、関連領域の話題を通じて、障害福祉サービスのあり方を提言していく。

法人利用者、職員、後援会員、関係団体等に配布・送付している。

No.129 (4月発行)

「福祉現場の効率化を進める言葉の力」 理事長 加藤久和

「キーワードは『言語化』」 名東区障害者地域生活支援センター長 小島一郎

No.130 (8月発行)

「今後の生活が楽しみ～上ノ山ホームで男女の新ユニットがスタート」

理事長 加藤久和

No.131 (2月発行)

「名東福祉会 30周年にあたって」 後援会長 林輝夫

「名東福祉会 30周年記念フェスティバル開催にあたって」 後援会 加藤富美子

「30周年という節目にあたって」 理事長 加藤久和

施設・事業所 一覧

社会福祉法人 名東福祉会 (昭和 56 年 8 月 認可)

法人事務センター 〒470-0124 日進市浅田町上納 58-4
TEL(052)805-1003 FAX(052)805-1004

法人ホームページ <http://www.meito.or.jp/modules/sections/>

種 別	名 称	住 所	電話番号	FAX 番号	E-mail
生活介護 就労継続 B 型	メイトウ・ワークス	〒465-0055 名古屋市名東区勢子坊 2-1303	(052)702-2863	(052)701-2079	meitoworks@meito.or.jp
相談支援	名東区障害者地域 生活支援センター	同 上	同 上	同 上	同 上
生活介護 就労継続 B 型	天白ワークス	〒468-0023 名古屋市天白区御前場町 327	(052)804-5487	(052)804-5416	tenpaku@meito.or.jp
生活介護	はまなす	〒465-0054 名古屋市名東区高針台 1-911	(052)704-7551	(052)704-7552	hamanasu@meito.or.jp
施設入所支援 生活介護 就労継続 B 型	レジデンス日進	〒470-0124 日進市浅田町上納 58-4	(052)805-1003	(052)805-1004	nissin@meito.or.jp
地域活動支援 センター	ハートフルアクト 日進	同 上	(052)805-1012	同 上	同 上
グループホーム ケアホーム	上ノ山ホーム	〒470-0124 日進市浅田町上ノ山 12-1	(052)808-4878	(052)808-4878	